



# 川和中たより

令和3年2月1日発行

横浜市都筑区富士見が丘21-1

電話 941-1361/FAX 942-9965



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kawawa>



## 安全で安心な社会に

校長 田原 裕

緊急事態宣言が発令され、ほぼ一ヶ月が経過しようとしています。

少しずつではありますが、感染者は減少しています。しかし、医療体制の逼迫や患者の搬送が困難な状況が続いています。学校は今後も適切に感染防止対策に取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、引き続き感染防止にお努めいただきますようお願いいたします。

コロナ禍において、感染された患者やそのご家族に対し、残念ながら偏見や差別があることが問題になっています。しかしながら、差別や偏見は現代に限ったことではなく、過去の歴史の中でも常に存在してきたことであり、人間が生活を営むにあたり、多くの場面や環境で偏見や差別が生まれているといっても過言ではありません。だからこそ、差別や偏見のない社会を創りあげることが大切なのです。

さて、リボンにメッセージを込めてシンボルマークとする「リボン運動」をご存知かと思います。もともと欧米が起源と言われていますが、今では日本でもさまざまな色のリボン運動を目にします。

例をあげれば、乳がん検診の早期受診の推進などを目的とした「ピンクリボン運動」や、児童虐待防止運動のシンボルマークである「オレンジリボン運動」があります。

そしてコロナに関していえば、新型コロナウイルスに感染されている方やすでに感染から回復された方、家族、医療従事者などへの差別をなくすための思いを広めようと、愛媛県から全国に広まっている「シトラスリボン運動」があります。

ウイルスに感染後、感染から回復された方が偏見や差別なく社会に受け入れられることを促すこのリボンは、「地域」「家庭」「職場(学校)」を表す3つの緑色の輪がシンボルで、賛同者にリボンを身に付けてもらうなどして啓発しています。

一人ひとりの存在を認めあい、そして受け止める空気があるからこそ、住民が共に生き、共に支え合うまちなのだと思います。そのようなやさしいまちづくりに取り組むことは、私たちの使命でもあります。そしていつの日か、いや、近い将来、差別や偏見がない世の中を創りあげていきたいものです。

昨年6月に実施予定だった修学旅行を、今年2月下旬に変更して準備を進めてまいりましたが、現状を鑑み、たいへん残念ではありますが中止の決定をいたしました。

コロナ禍の中で中学校生活を送っている子どもたちの心情を思うと、一日も早く安全で安心な社会に戻ることを願ってやみません。

皆様方におかれましては、今後も引き続き、子どもたちを温かく見守りお支えくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 2月・3月初めの行事予定

2月		
1	月	専門委員会
2	火	代表委員会
3	水	
4	木	体操着販売(13:55)
5	金	
6	土	新入生保護者体操着販売(午前中)
7	日	テスト3日前(部活動なし)
8	月	
9	火	
10	水	学年末テスト(1・2年)
11	木	建国記念の日
12	金	学年末テスト(1・2年)
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	天皇誕生日
24	水	
25	木	体操着販売(15:10)
26	金	
27	土	
28	日	
3月初め		
1	月	
2	火	3年生を送る会
3	水	
4	木	体操着販売(14:40)
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	第41回卒業証書授与式 ※1・2年生は自宅学習日
12	金	
13	土	
14	日	

### 【学校評価アンケートへのお礼】

学校評価アンケートへのご回答  
いただきありがとうございます。  
今後のより良い学校運営の参考にしてまいり  
ます。アンケートの結果については、後日、お知  
らせいたします。



### 【ご家庭での感染予防の取組について】

児童生徒の新型コロナウイルス感染症に対  
する認識を広げ、正しい予防措置を学ぶことを  
目的に、映像制作会社から標記の映像資料の  
提供の申し出がありましたのでお知らせいた  
します。

\*小学生低学年用 Youtube の URL

<https://youtu.be/vDryLhugP5M>

\*高学年・中学生用 Youtube の URL

<https://youtu.be/ojmeMWq4iI>

(最後の2文字は、小文字のl(エル)、大文字のI(アイ))

### 【第41回卒業証書授与式について】

第41回卒業証書授与式を3月11日(木)に挙  
行いたします。安心して卒業式が迎えられるよう  
準備してまいります。詳しいご案内を後日、  
お配りします。ご覧ください。

なお、式当日、1・2年生の生徒は自宅  
学習日となります。ご承知おきください。



### 【校内相談窓口】

#### 《学校カウンセラー相談》

お子様の学校生活やご家庭での悩みや不安な  
どについて、カウンセラーが相談を受けます。

◇担 当 カウンセラー 佐藤 紘代

◇相談日 毎週金曜日 9:00~17:00

(2月は5日・19日・26日、3月は6日・13日)

☎お申し込みは、カウンセラー直通ダイヤル

TEL 941-7075 まで

※日程が合わない場合には、都筑区福祉保健  
センターでも相談を受けることができます。

☎区子ども・家庭支援相談 TEL 948-2349

平日 8時45分~12時 13時~17時

#### 《スクールソーシャルワーカー相談》

学校生活での困りごとを抱えているお子様、  
保護者の方を福祉の面から支える専門員への相  
談を受けています。

◇担 当 スクールソーシャルワーカー 矢木 義子

☎相談を希望される方は、担任又は担当(生徒  
指導専任教諭 高橋 昭)まで



# いじめ防止に向けた提言

青少年の健全育成のために、子どもに関わる全ての大人に向けて

- 一 多様なコミュニティを創造し、大人社会の相互信頼を高めることで、子どもに安心できる空間を提供しよう。
- 一 地域・家庭が一体となって、子どもたちに、幼い頃から多くの「大切な人」との出会いを創ろう。
- 一 子どもたちが自他の尊さや人とのつながりを実感し、自ら問題を解決していけるたくましい心を育てよう。

## 提言策定の理由と主旨

今年度、新型コロナウイルス感染症拡大予防のために、子どもたちは、「人とのつながり」が分断される状況を余儀なくされた。しかし、本来、人と関わることは、お互いに温かさや安心をもたらすことであり、孤立を防ぐことである。この社会状況を契機として、今、改めて「人とのつながり」の大切さについて考えていく必要がある。

いじめ防止対策推進法には、「いじめについては社会総がかりで取り組むこと」、横浜市いじめ防止基本方針には、「特定の子供や立場の人だけの問題とせず、広く社会全体で真剣に取り組むこと」と示されている。新型コロナウイルス感染症に伴う、偏見や差別の問題の発生、そうした問題に向き合うことを倦厭する社会の雰囲気から脱却し、改めて、大人も子どもも共に「いじめ」について考え、自分事として行動していくことは重要である。コロナ禍と言われる今だからこそ、社会全体で「いじめ」と向き合い、改めて「いじめ」の捉え直しをしていく必要があるのではないだろうか。

子どもに関わる全ての大人が、現実及び仮想も含めた多様なコミュニティを創造し、大人社会の相互信頼を高めることで、子どもに安心できる空間を提供していくこと。さらに、地域・家庭が一体となって、今まで以上に、子どもたちに、幼い頃から多くの「大切な人」との出会いを創っていくこと。そして、子どもたちが自他の尊さや人とのつながりを実感し、自ら問題を解決していけるたくましい心を育てていくこと。子どもに関わる全ての大人が信頼関係を結び、関わり合える社会をつくっていくことは、温かく寛容な風土を醸し、子ども達を柔らかく包むことであり、社会全体で「いじめ」そのものを乗り越えていくことに他ならない。そこで、横浜市いじめ問題対策連絡協議会が、「いじめ防止に向けた提言」を策定・発信することを通して、市民全体が一丸となって、今後一層、取組を深化させていきたいと考える。

## \*個別支援学級学習発表\*

1月20日(水)に予定されていた合同学芸会が中止となったため、取り組んできた劇を体育館のステージで演じ、撮影をしました。

時間をかけて取り組んできた成果が十分に伝わってくる演技でした。



## \*書き初め\*



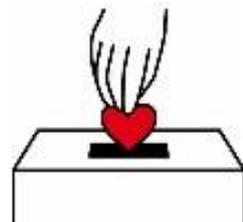
冬休みの課題として全校生徒が取り組んだ書き初め。各学年から選ばれた作品が書写展に出品されました。おめでとうございます。

## \*ユニセフ募金\*

1月8日・12日、社会福祉委員によるユニセフ募金活動が行われました。3日間で集まった金額は38,441円でした。これらは、「ロヒンギャ難民 緊急募金」として日本ユニセフ協会に送られました。ご協力ありがとうございました。

募金されたお金は、ビタミン剤や文房具、水をきれいにする浄水剤などになって、支援を必要とするロヒンギャ難民のもとへと

届けられます。一人でも多くの子どもとその家族の命が救われることを願っています。



## \*横浜市いじめ防止に向けた提言\*

横浜市では、横浜市いじめ防止基本方針に基づき、児童生徒をいじめから守り、社会全体でいじめ防止に取り組むため、12月を「横浜市いじめ防止啓発月間」と位置づけていて取り組みが進められました。その中で、「いじめ防止に向けた提言」が発信されました。これは、横浜市いじめ問題対策連絡協議会で、いじめの未然防止に主体的に取り組む子どもたちを、大人がどのように支えていくべきかについての協議を経て、作成されたものです。保護者の皆さまにおかれましても、ご一読いただき、ともに子どもたちを支えていただければと思います。